

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2021年1月号 No.7

2020-2021年度ガバナー 久保田 英男



ロータリーは機会の扉を開く



©Hakkodo

手割り小箱 椿 両手の中に収まる程の小箱で、一つの木から器を削り出し、模様を彫ります。鎌倉の谷戸には椿が多く自生しており、冬から春にかけて咲く赤い花を、写実的に器全体に彫り込んだものです。

Rotary
第2780地区

CONTENTS

ガバナーメッセージ 2	クラブ紹介 第5A&5Bグループ 5
新年あけましておめでとうございます	ガバナーノミニーデジグネートの確定宣言 ... 10
1月『職業奉仕月間』	新クラブ・新会員紹介 11
新型コロナウイルス拡大防止に	

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
Rotary International District 2780 2020-2021

クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2020～21年度ガバナー
久保田 英男
(鎌倉RC)

新年あけましておめでとうございます

皆様穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

…言葉は同じですが、今年のお正月は少しいつもと違うニュアンスだったかもしれません。

除夜の鐘に煩惱を取り除き、去る年に感謝し、清らかな気持ちで、来る新年を佳き一年となるよう、祈る元日の過ごし方は日本人の習慣。独特な空気の中、大勢の人々が神社仏閣で新年を祝う光景が消え、恒例の宮中一般参賀も中止となり、天皇陛下の新年のお言葉もビデオメッセージという形式になり、いままでとは違う異質で静かなお正月を迎えることになりました。

どうしても、コロナから離れられない一年になりそうですので、少し話題を替えてみましょう。

個人的な話しから始まり恐縮ですが、ご存知の通り、鎌倉鶴岡八幡宮の参道で商うのが私の生業です。もちろん、店は元日から開けておりますが、このコロナ禍も勘案して、今年の元旦、個人的にお休みを頂きました。私にとっては最高の「お年玉」です。家族と11月にやってきた子犬と（シャルルマーニュの伝説のパラディンから頂戴した勇ましい名ではありますが、悪戯ばかりするヤンチャ息子です…親バカ全開、新年に免じお許してください）大晦日からテーブルを囲み、年越しそばを頂き新年を迎え、新年揃ってお雑煮を頂きました。初詣は控え、家で終始寛ぎながら、家族で会話を楽しみ、大好きなサツ

カーも約40年ぶりの天皇杯をテレビ観戦ではありましたがライブで見ることができました。今まで忘れていた家族の温もりに甘えリラックスし、またどこか懐かしい楽しい時間を過ごすことができました。

さて、無粋なものでこうした時間も仕事やロータリーの事が頭から離れません。仕事人間・ロータリーバカだと、独り心の中で笑ってしまうのですが。それでも折角の家族との時間「日頃、家族と会話が十分でないから、せめてこの様な時こそ会話をしなくては」と、考えていました。しかし、意識した会話は長続きしません。その代り、漠然とした会話や意味のなさそうな話題は、盛り上がりながら違う方向へ向かい、再び元に戻り、また違う方向へ、と。「さあ話しましょう」では決して出ない心からの言葉が聞けたり、思わぬ発見があったりしました。

「こうすれば家族の会話になるだろう」という思い込み。「日頃会話が足りない」と思っているのは自分の主観、さらに「せめてこんな時」、それは自分の都合で家族のことは一切考慮していません。本当に家族が何を思い、どんな会話を望んでいるのか、そして自分の環境だけではなく周囲の状況も考え、別に構える必要はなく自然体で会話する中で理解し合っていくのだと改めて思いました。

私たちがロータリーでの奉仕活動をする際もこんな思考で動いていませんか。「こうすれば喜んでくれるだろう」「今までもそうだった」、「〇〇月間だから」「財団の補助金の制約事項があるから」などなど…。

例えば小学校に本を寄贈すれば、学校は喜ばれると思います。寄付金を贈ればその団体は喜ぶと思います。コロナ禍で多忙な医療機関に医療機器を贈れば役に立つかもしれません。でも、本当にその人たちの為になっているのでしょうか。本当にその人たちが望んでいる奉仕なのでしょうか。

良かれと行って行うことも、一方的な思い込

みであるとその気持ちが伝わらず、成果が半減してしまうことが多いのです。普段から密接なコミュニケーションを取っていると、実は本当に必要なもの、ロータリーでしかできないこと、が私たちにも見えてきます。必要なものを必要なだけ、タイミングも大切だし、出来ない事は出来ないと言えぬ関係。ロータリーも地域の人たちの家族に近づくことが重要なのではないかと感じています。皆さんのクラブはそれが出来ていますか？今出来ていても、それが後身にも繋がり伝わることも考えておいて下さい。

そして、久しぶりに家庭で迎えたお正月は、昔と比較をして変わっていないことも、変わったことにも気づきました。おせち料理やお雑煮の味は変わっていませんが、自分がその歳の頃は、誰もが喜んで食べていたものを今の子は好まない、とか。私が子供の頃、競ってお餅を沢山食べたものですが、「いらない」という返事だったり、とか。これらからも色々思う事がありました。

今の子供もおせち料理やお雑煮は好きなのです。でも私たちの感覚と見え方が確実に違ってきています。だから、ともするとドライな子供たちの言動は、こうした伝統を軽んじているように映り、親としては「昔は…」とお説教になってしまいます。すると子供にとっては、窮屈で面倒な儀式にしか感じられなくなり、正月そのものが嫌いになっていきます。もし自分も子供ならそう思ったでしょう。ここで重要なのは「お正月の文化を残す」ことですが、それを押し付けることに終始していて、何故それを残したいのか、伝えて行きたいのか、が消えてしまっているからだと思います。少なくとも私は、子供の頃お正月が楽しかった。おせち料理を従兄弟や祖父母や叔父叔母たちと囲むのが楽しかった、のです。そうなのです、本来伝える事はその「楽しいお正月」であるべきなのです。楽しいものだよ、というメッセージを欠いてしまうと、義務感ばかりが際立ち、「やらされている」「縛られる」イメージが先行してしまい、嫌いなもの、不必要なものになっていくのだと思います。伝統を守る「義務」を背負わせるのでは

なく、伝統を楽しむ方法を一緒に考える機会を設けることが私たちには必要なのです。

ロータリーにおいても「変わらないもの」「変えてはいけないもの」が沢山あると思います。それをどう守っていくのか、どう伝えるか、難しいこととと思っていましたが、そもそも自分がなぜそれを大事に思うのか、重要だと考えているのか、そして、それを初めて接した時どのような感情で自分自身が受け止め、その後どう変化してきたのか、などを、もう一度丁寧に思い出すと、「変えてはいけないもの」の本質が見え、守るべき実体が現れてくるのではないのでしょうか。そこを伝えることなく、本当の共感を得る事は出来ないし、中身の薄いまま伝われば、いつしか入れ物（形式）だけが残り価値は失われてしまいます。その伝えたいこと、守りたいことの、あなた自身の最初の感情を思い出し、そこから伝え守っていきませんか。感動するという事は、自分自身の心が揺さぶられたことで、理屈や論理ではないと思います。素直で純粋な気持ちは、必ず人を明るくします。難しい時だからこそ、原点を丁寧に掘り起こしましょう。

1月『職業奉仕月間』

ロータリーと出会って、今も「職業奉仕」の話題になると時折思うことがあります。「日本人は言葉を大切にす」民族だな、と。決して「職業奉仕」の話題から離れようというわけではなく、その本質に近づこうとするアプローチで無意識にその言葉で止まることのあるからです。それは「職業」と「奉仕」という言葉に分解した時のことです。

「奉仕」という言葉を国語辞典『大辞泉』で見ると

「1 神仏・主君・師などに、つつしんでつかえること。「神に奉仕する」

2 利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと。「社会に奉仕する」（以下略）」

と記載されています。自分も含めおそらく多くの人は「奉仕」という言葉から辞書の2の解

ガバナーメッセージ

説に近い「利害を求めない行い」「見返りを求めない無私の行為」のイメージがあるのではないのでしょうか。従って、「社会奉仕」であれば、地域社会の為に尽くすこと。「国際奉仕」は日本国内に留まらず、世界中が対象とした無私の活動なのだろう、などとイメージできるわけです。

一方「職業」という単語はどうでしょうか。

同じく『大辞泉』では

「生計を維持するために、人が日常従事する仕事、生業。」

とされています。「(生計を維持するための利益)」「働いた分の対価」をもたらす行為です。

つまり「奉仕」は「公」「無欲」、「職業」は「私」「利得」。と、このように私たちは日常「職業」と「奉仕」の言葉を全く対極にある概念と思っているのではないのでしょうか。「社会奉仕」や「国際奉仕」の様に漠然であっても方向感覚はそれほど変わらず誰もがイメージできますが、それが合体して「職業奉仕」となると、その間の何処に着地点を求めているのか分からなくなり、それゆえに『「職業奉仕」は難しい』と言われ、時としてロータリー「職業奉仕」談義が盛り上がるのかもしれませんが。どうしても平素使用する「職業」と日本文化にある「奉仕」の概念との狭間で、ロータリーの「職業奉仕」の輪郭がよく分からなくなっているように思います。

これは日本語や日本の文化歴史が持つ不思議な力のように私は思います。言葉に魂が宿る、と言われ言葉を大切にしてきた日本人ならではの意識に思えてなりません。曖昧な二つの言葉の間で迷う感覚。「職業奉仕」は、その二つの言葉の狭間の神秘的なものなのか、それとも両義性のあるものなのか。故に奥が深く、面白いテーマだと私は思っています。原語(英語)で探ってみても面白いかもしれませんが、ここでは日本語と日本での角度から持論私見を交えて記しました。その様にお読み下さい。

ここでは言葉そのものから「職業奉仕」を述べましたが、今年度の地区職業奉仕委員会では、その難題の「職業奉仕」の中核へ迫り、それを

さらに分かり易く解説することにチャレンジしました。しかも、このコロナ禍を意識した斬新な卓話方法を考案されております。お勧めいたしますので、地区職業奉仕委員会からのお知らせを是非ご覧ください。新しい取り組みにも着目し活用して頂ければ、よりロータリーライフが豊かになると思います。

新型コロナウイルス拡大防止に

先般、地区危機管理委員会より新型コロナウイルスに関する地区としてのガイドラインを各クラブにお示しさせて頂きました。そして、いよいよ1都3県に緊急事態宣言が発令される可能性が高まってまいりました。クラブ例会・行事の中止、IMの中止・延期の連絡も、すでに年末から毎日のように飛び込んできています。

「臆病者と呼ばれる勇気を持て。安全こそ、最大の使命であり、責任である。」日本航空・松尾静麿元社長の言葉です。勇気ある英断を下された方々に敬意と感謝申し上げます。

このコロナ禍において、皆さんは家族や事業所、従業員・職員とその家族、ロータリークラブやロータリアンそして友人や仲間の安全を守り、地域に安心を示すことが第一だと思います。ロータリークラブとして、ロータリアンとして、何が出来るのか、何をすべきなのか、よく考え行動して頂くようお願い致します。私たちは、地域の国際社会のリーダーです。率先してこの危機に立ち向かい、乗り越えなくてははいけません。我慢しましょう。頑張りましょう。

できるだけ最新の情報をお伝えしたく(遅筆のいい訳でもありますが)、発行ギリギリまで待って頂いている本誌編集印刷関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。

お読み頂く皆様、遅くなり申し訳ありません。

そして最後になりますが、この瞬間も懸命にコロナと向き合っている医療従事者の方々への尊敬と深甚なる感謝の気持ちを忘れることなく、この一年一人一人ができることを積み重ね、よりよき一年にしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

クラブ紹介

第5 Aグループ

相模原ロータリークラブ

会長 宮崎 哲朗

相模原RCは創立1962年、現在会員数は30代から90代の70名になります。来年度は創立60周年を迎えます。また昨年度は杉岡ガバナーを輩出するなど、『伝統と格式』を重んじる活気のあるクラブです。

今年度は新型コロナウイルスの影響があり、活動が制限されておりますが、8月に毎年恒例の夏の家族懇親会例会をさがみ湖プレジャーフォレストで開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されましたが、マスクやフェイスシールドの着用、アルコール除菌、換気等のできる限りの感染防止対策をしてBBQを行いました。当日は会員、会員家族含め総勢約60名の方に参加頂き、最後はソーシャルディスタンス等に気を付けながら『手に手つないで』を全員で歌い、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。これからもクリスマス家族懇親会、年度末家族懇親会等、会員そして会員家族の皆さんも楽しめる例会を開催していきたいと思っております。



相模原グリーンロータリークラブ

会長 齊藤 紀美孝

私は相模原グリーンロータリークラブ29代会長、齊藤と申します。新しい年度になり各委員は沢山の計画を立てて意気込んでおりましたが、今回の危機によりクラブ員との交流もままならない事態となり、ロータリーの活動も例会も3か月間中止となりました。

思わぬ行動が制限される中で私達がロータリーに入った意義、親睦と社会奉仕について深く思慮を重ねる機会となりました。幸いにも我がクラブはグリーンと名のっているように、若い考え、前例に捉われない行動力、春の息吹を表すグリーンなクラブです。社会現象を注意深く見て試行錯誤しながら始められるところから活動を始めていきたいと思っております。またそれに今までやって来た先輩方の創られた遺産が有ります。

ハヤブサIIが帰ってきたように、宇宙少年団の支援、ネパール婦人の職業支援、インターアクト活動の支援など社会奉仕、国際奉仕を力強く始めようと思っております。

社会のネットワークが寸断された状況で一番難しい課題が親睦なのですが、クラブ員と知識を深め話し合いながら交流の場を作ってゆきたいと思っております。



新しい例会方法(スクール形式&マスク・フェイスシールド着用)

国際奉仕「ネパール教育支援の会NESA」支援

青少年奉仕「宇宙少年団相模原分団」支援

津久井中央ロータリークラブ

会長 水野 茂

当クラブは相模原市緑区にあり、神奈川県のアルプスと呼ばれる大変のどかなエリアにあるクラブです。沢山の緑と豊富な水源の湖に囲まれた家庭的なクラブです。

現在の会員数は21名です。前年度は津久井ロータリークラブと合併して新たな気持で活動しています。今年度は地域の学童野球大会の支援や、橋本ロータリークラブと共同で基幹病院の津久井赤十字病院に空気清浄機を寄付しました。

また今年度会長方針のひとつである会員増強にも頑張っており、新たに2名のメンバーが加わり、当クラブ内が更に個性の塊の集団に変わったようです。

コロナ感染が収まりましたら是非一度メイクアップにお越し下さい。



津久井中央 R C 杯



日赤寄付

相模原橋本ロータリークラブ

会長 沼尾 一喜

当クラブでは、コロナ禍における安全安心な例会の開催に向けて『家庭より安全な例会場』を目指し、例会場のご協力も得て様々な対策を行っています。

マスクの着用やアルコールでの手指消毒はもちろん、例会場入り口ではサーマルカメラによる検温と記録。例会場内では空気循環式紫外線清浄機や空気清浄機能の付いた低濃度オゾン発生機器等の稼働をはじめ、人体に安全なUV滅菌機器【CARE 2 2 2 (ウシオ電機)】による空間除菌器も稼働しています。ご関心がおありでしたらご見学頂ければと存じます。

例会では食事も楽しみの一つですが、食事時の飛沫感染を防ぐために、お弁当を持ち帰る事にしました。様々なご事情により例会場へ来ることのできない会員向けに、オンラインで例会に参加できる環境も整っています。

我がまち橋本でも様々なイベントが中止となり、当クラブの得意とする奉仕活動も限定されてしまいました。先が見えず難しい例会運営となっておりますが、クラブの今年度テーマの如く、会員一同が「ONE TEAM」となり、心をひとつにこの難局を乗り越えていきたいと思っております。



クラブ紹介

第5 A & 5 B グループ

相模原ニューシティロータリークラブ

会長 鈴木 高 広

相模原ニューシティロータリークラブは、創立4年目を迎えたクラブです。ニューシティとは、相模原市が掲げる「広域交流拠点 ～未来を拓く さがみはら新都心～」から名付けました。今後の相模原市と共に諸問題の解決や未来を拓く事業を展開していきたいという思いからです。

昨年の2月にNPO法人創志館相模原てらこやとの共同事業を行い、小学生の子ども達や、大学生のボランティアなど多くの人に参加頂きました。今年の2月に当クラブ初の地区補助金を使用して、てらこや事業を主催しようと企画しましたが、残念ながらコロナの影響で中止となりました。その他長期計画を策定し、計画の具現化を行うために、あらたな奉仕事業を構築すべく活動をしています。

月2回夜間例会の開催が大きな特長です。回数は少ないですが、月1回の例会後の懇親会も行っており、メンバー同士の強い絆があります。また、本年度は親睦ゴルフ大会の開催や、バスツアーの開催など例会以外の行事も行いました。



例会の様子



ゴルフコンペ



バス旅行

相模原南ロータリークラブ

会長 澁谷 直 樹

社会と街の変革の中で進化し続け今年で50周年を迎えるクラブです。この50年、街は商業地として発展してきました。それに伴って地元出身者だけでなくこの地で事業を興して礎を固めた方、或いは支店長として地域に根差した商売を展開している方が多いクラブでもあります。そうした方々が肩を並べて研鑽し高め合い、何か役に立ちたいという恩返しと言うか、利他の精神で日々ロータリアンとして活動しています。

皆そのような熱いハートを持っていながら、「そんなに力むなよ」と自然な笑顔で導いてくれる先輩達がこの相模原南クラブを形にしてきました。新たに入会した会員が皆元氣よく、のびのびとロータリー活動を謳歌しているのもこの雰囲気があるからこそなのです。

そして青少年奉仕事業も相模原南の特徴です。子供達は少年野球教室でプロ野球選手と触れ合い、幼児サッカー教室ではプロサッカー選手が我が子のように共に走ります。

相模原南ロータリークラブは「はやぶさ2」のように未来に希望を持って人と人とを繋げるクラブです。



会員集合



ピッチャー指導



幼児サッカー教室

相模原中ロータリークラブ

会長 佐々木 敏 尚

相模原中RCは、1977年に33名で設立され、現在、30代から80代の28名の会員により元気に活動しています！

2020年2月、フィリピンの火山噴火による災害の際、現地のマカティボブラシオンRCより目薬が欲しいとの要望を受け、会員2名が段ボール5箱（300個）の目薬アイボンをフィリピンにお届けしました。コロナの影響により3月から5月の例会は中止となりましたが、5月には友好クラブである台湾の台中文心RCから1万枚のマスクの支援を受け、相模原市に寄贈を行ないました。

7月からは通常の例会にオンライン（Zoom）を併用するハイブリッド型の例会を月4回継続して行なっています。地区補助金を利用した奉仕事業『チャレンジド・チルドレンあそびのフェスティバル』は、コロナの影響で無念の中止となりました。提唱インターアクトクラブ光明学園からは生徒達の中古シューズをお預かりしていますので、海外へ寄贈するプロジェクト『空飛ぶシューズ』を計画しています！



相模原西ロータリークラブ

会長 井上 武 志

相模原西ロータリークラブの今年の方針は「歴史ある40年を学び未来につなぐ考動を」テーマに、4名のチャーターメンバーをはじめパスト会長からの卓話を依頼して会長年度のエピソード、将来のクラブ運営の在り方など、会員皆で考えていく時間を大切にしております。しかしながら今年度は、新型コロナウイルスにより例年のような奉仕活動は出来ておりません。青少年奉仕事業では、開会式は中止でしたが小学4年生以下を対象とした少年野球大会の支援、社会奉仕事業ではクラブ会員のみでの緑道清掃活動、社会福祉法人「すずらんの会」より、会員の祝辞用の焼き菓子を就労支援ワークショップにお願いして永くお付き合いして行きたいと考えております。

例会は、スクール形式で食事も例会数も通常どおりで開催しております。12月よりハイブリット例会を採用して、感染予防や仕事都合で例会出席に苦戦している会員も少しずつ例会に参加出来る環境を整え、Zoomを用いて会員間の親睦が図れることを期待したいと思います。今年度は、創立40周年の年度です。記念奉仕事業として、山梨県北杜市にある、難病/障害を持つ子どもと家族の休息の場「あおぞら共和国」への花壇や植樹を春までに実現できるように計画をしております。記念式典や記念祝賀会はコロナ感染症の社会情勢を視野に検討しております。

新しい生活様式を取り入れ、従来のようなおもてなしが出来ないかもしれませんが相模大野にお越しときはクラブメイクにお立ち寄りをお待ちしております。



クラブ紹介

第5Bグループ

相模原東ロータリークラブ

会長 坪井 廣行

本年度の当クラブのテーマは、「人生を楽しもう ロータリーも楽しもう」です。我々の日々の生活が充実して過ごすこと、ロータリー活動もその延長であって、例会も楽しく良い方向に回っていくはずで、その方向性からも会員増強に結びついていきます。例会の充実の見地から、会員の卓話を増やし、毎回、会員の3分間スピーチを実施し、親睦や情報交換をはかっています。当会の奉仕プロジェクトの一つは、毎年相模原市の市民桜祭り（選挙時は若葉祭り）に参加しております。焼き鳥や綿菓子等を販売したり、会員が持ち寄った品をバザーで売却し、その売上金をポリオに寄付するというものです。20年以上に渡って参加している重要な当クラブ活動の一つとなっております。



親睦としては、家族例会としてクリスマス会があり、芸人さんと呼んだりビンゴゲームなど和気藹々とした雰囲気なかで行っています。今年は、コロナ禍で家族例会は延期となり、それゆえクリスマス会自体は中止となってしまいました。来年はコロナ禍が収まり、コロナ対策に気を遣わなくて良い通常の例会運営ができることを願っています。



相模原柴胡ロータリークラブ

会長 横山 智久

クラブ創立は2006年、今年度は15周年目となる節目の年度となります。会員数は27名、平均年齢は50歳前半と第5グループのなかでは若手会員の多いクラブですので、団結力もあり楽しいクラブです。今年は地区大会にて会員維持賞も頂き、なお一層の団結力が出来たと思います。



しかしながら今年度はコロナ禍の中で思うような活動はできていませんが、地元、相模原市立清新小学校の「ふれあいランド」で、奉仕活動として「シイタケ菌床キット」を無償配布し、教育活動に貢献したことに、感謝状をいただきました。



8月のガバナー公式訪問はコロナ禍の大変な時期ではありましたが、例会場の配置を工夫し、無事ガバナー公式訪問を行うことができ、内容も当クラブらしいおもてなしも出来、ざっくばらんな意見や質問が出ましたが、久保田ガバナーの素晴らしい返しやトークで大変楽しいガバナー公式訪問でした。

今後はコロナ禍の中で先行きは判りませんが、クラブ独自の奉仕活動を検討しながら魅力あるクラブ作りに取り組んでまいります。



相模原かめりあロータリークラブ

会長 小原 華子

相模原かめりあRCは早いもので創立から3年目を迎えております。幅広い職種を持った27名の女性だけのメンバーが特徴です。例会は月2回夕方に開催されていますが、その年によって色々なカラーがあります。これまでは、お茶とお菓子のおもてなしがあったり、メンバーのお店で会食や忘年会が開かれたりしていました。また、スマイル報告は毎回楽しい時間で、聞いていて心が温まるエピソードやクスッと笑ってしまうコメント等が沢山あります。

今年は新型コロナウイルスの影響で、月2回の例会に初めてオンライン例会が導入されました。当メンバーは、ご家族（お子さん、お孫さんも含む）などのサポートを受けて、オンライン例会へスムーズに移行しております！

活動報告としては、新型コロナウイルス対応緊急地区補助金を受けて、地区内の6箇所の医療機関へ、防護用手袋、非接触型体温計、除菌スプレーなどを寄贈致しました。その時に不足していたり、入手が難しい備品だった為、感謝状も頂きました。また、当姉妹クラブの台湾美仁クラブが昨年から申請していた、国際ロータリーグローバル補助金プログラムも通り、かめりあRCもサポートさせて頂くことになりました。このプログラムは、台北拘置所での若年受刑者への心理治療計画といい、法務部矯正署台北少年看護所にて未成年収容者に心理療法サービスを提供することを目的としております。

そして、コロナ禍ではありますが、久保田ガバナーや補助金配分・VTT委員会の中村委員長らにご訪問頂き、インターアクト、ロータリー財団、クラブの楽しみ方などに関する貴重なお話を聞く機会があり、色々学ぶことができました。

かめりあメンバーは、この長く辛い時期も常に前向きで新しいことにも挑戦して行く姿勢を持っていて、会長としてはいつも勇気づけられます。まだまだ伸び代もあるかめりあRCだと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



《国際ロータリー第2780地区 2023-2024年度ガバナーノミニー確定宣言》

2023～2024年度ガバナーノミニー選出に際し、2020年10月19日付けで各クラブ宛に、2020年12月21日12:00を締切とし、最適任の会員をガバナーノミニー候補者として提案頂くように要請致しました。

2020年12月21日15:00より指名委員会を開催し、討議致しました結果、相模原西ロータリークラブよりノミニー候補者として提案のありました田島 敏久（たじま としひさ）会員をノミニーとして指名致しました。

RI細則第12条（12.030.7）に基づき、2020年12月24日付けで、対抗候補者の推薦の締切を1月6日12:00とし、各クラブに候補者の告知を致しました。

期日までに対抗候補者の推薦がありませんでしたので、相模原西ロータリークラブの田島 敏久会員が、2023～2024年度ガバナーノミニーに確定したことをお知らせいたします。

ガバナー 久保田 英男



ガバナーノミニーデジゲネート
たじま としひさ
田島 敏久
(相模原西RC)

所属クラブ 相模原西ロータリークラブ
生年月日 1943年12月6日生 77歳
職業分類 産婦人科医
勤務先・役職 慈誠会病院・院長
勤務先所在地 相模原市南区相模大野6-19-26
最終学歴 東京慈恵医科大学卒 医学博士

地域での役職

平成13年 相模原市産婦人科医会会長に就任。
相模原市医師会子宮がん検診部会長。現在に至る。
平成19年 神奈川県産婦人科医会理事に就任。現在に至る。
日本産婦人科医会代議員。現在に至る。
関東ブロック産婦人科医会監事。現在に至る。
神奈川県医師会母体保護法委員会委員。現在に至る。
平成22年 東京慈恵医科大学同窓会役員(湘北支部長)
平成23年 神奈川県医師会公衆衛生委員会委員。現在に至る。

ロータリー歴

2001年3月2日 相模原西ロータリークラブ入会
2014～15年度 クラブ会長
2015～16年度 青少年奉仕委員会 委員
2016～17年度 財団資金推進委員会 委員
2017～18年度 R財団委員会 財団補助金管理委員会 委員
2018～19年度 R財団委員会 財団補助金管理委員会 副委員長
2019～20年度 R財団委員会 財団資金推進委員会 副委員長
2020～21年度 第5Bグループガバナー補佐

ロータリー表彰

(AKS)アーチ・克蘭フ・ソサエティー会員
ポール・ハリス・フェロー/マルチプル・フェロー
ポール・ハリス・ソサエティー
ベネファクター/米山功労者

お知らせ《新クラブ》

第3グループに新クラブが誕生しました

クラブ名 『イノベーションゲートウェイ湘南ロータリークラブ』

スポンサークラブ：ふじさわ湘南ロータリークラブ、藤沢東ロータリークラブ

承認日：2020年12月21日

創立会員数：25名（男性：24名・女性：1名）

会長：加藤 一

幹事：久野 孝稔

クラブ連絡先：shonan@innovation-gateway.org

例会場：湘南ヘルスイノベーションパーク（主会場）、天嶽院、泉光院

例会日時：月2回（1回目は定例第3土曜日 14：00～15：00、2回目はオンライン会議不定）

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



和田 たくし
和 田 毅
①伊勢原
②2019. 10. 02
③美容高材・健康食品卸
④堀口雅巳、
細野圭司



わたなべ ゆういち
渡 辺 有一
①伊勢原
②2020. 06. 03
③自動車整備業
④東井重和、
井戸川秀治



いじま たかひこ
飯 島 高行
①座間
②2020. 09. 09
③不動産業
④溝渕信一



たかはし けん
高 橋 研
①伊勢原
②2020. 09. 23
③銀行
④築城忠生、
天野耕一郎



みのぐち あつむ
美 濃 口 集
①座間
②2020. 10. 07
③運送業
④溝渕信一



はやし なおこ
林 尚子
①藤沢
②2020. 11. 25
③証券業
④田中正明



むらいし じゅん
村 石 順
①藤沢
②2020. 11. 25
③銀行業
④田中正明



さとうしょうたろう
佐 藤 昌 太 郎
①座間
②2020. 12. 02
③設計・鉄骨加工業
④溝渕信一



すずき ふみや
鈴 木 文 也
①座間
②2020. 12. 02
③広告業
④溝渕信一



ばば きよし
馬 場 清 志
①藤沢南
②2021. 01. 08
③屋外広告業
④高岡輝征

訃報 ご冥福をお祈り致します



おがわ かつひさ
小 川 勝 久 (小田原)
2020年12月28日逝去（享年76歳）
1999年8月5日 入会
2012～13年 クラブ会長
R財団 ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー3回
米山功労者 マルチプル3回

寒川ロータリークラブ 事務局 メールアドレスの変更

新メールアドレス：

samukawarc14139@t-samukawa.or.jp

訂正のお知らせ

小田原北R C、小田原城北R C新事務局員のお名前に誤りがありました。

お詫びして、訂正いたします。

(正) 西山 美保子

